

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 Kids-House Halc			公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員に応じたスペースを確保し、活動の連続や安全性に配慮したレイアウトにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を徹底し、活動内容に応じて机や椅子の配置を柔軟に変えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		落ち着いて過ごしたい児童や個別支援が必要な児童に対して、静かなスペースを設けています。	使用頻度の増加に応じて、個室の数や配置を見直す必要があります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを実施し、意見を集約して職員会議で共有しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	立ち上げて1年目の為、外部評価の導入を検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	○		個別支援計画に基づいて支援内容を明確にし、保護者へ丁寧に説明しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		面接・行動観察・保護者の聞き取りを通してアセスメントを実施しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を開催し、複数の職員で情報共有しながら計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援開始前に、職員で計画内容を確認し、共通理解を持って支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援の中で子どもの様子を記録し、職員で話し合うようになっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も含まれながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人・家族のニーズを反映し、将来を見越した支援計画を個別に作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的な会議を通して、職員が意見を出し合いながら活動内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事や子どもの興味関心に合わせて、毎月内容を見直しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングで、当日の児童の状況や支援内容を職員全員で共有しています。	
関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、長期的な点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援を通して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容や児童の反応を記録し、定期的に見直しを行うことで支援内容に反映しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者と支援担当職員が出席し、様子を見ながら他機関との連携を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援会議に参加しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	○			
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		現時点ではセンターとの連携はまだ確立しておらず、助言や支援を受ける機会もない状況です。	必要時に相談・助言を受けられる体制を構築していきたいと思っています。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		開設初年度ということもあり、地域の保育園・幼稚園やこども園との交流活動はまだ実施できていません。	子どもの社会的経験を広げる機会として、今後は取り組んでいきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			十分な情報提供ができていませんが、今後計画的に整備していく方針です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面接の際に保護者の希望や子どもへの思いを丁寧に聞き取り、計画に反映しています。	
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援開始前に計画内容を口頭と書面で説明し、内容を理解いただいたうえで同意を得ています。	
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談が必要な助言と支援を行っているか。	○		相談や遠隔での声かけを通して、必要に応じて時間を設けて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		立ち上げ1年目ということもあり、現在は保護者会等の開催実施はできていません。保護者からの個別の相談は丁寧に対応しています。	
事業所等の対応	41	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回のお便りを配布し、行事予定や活動の様子をわかりやすくまとめています。	
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	○		開設1年目であり、地域住民を対象としたイベントや招待はまだ行っていません。	地域とのつながりを今後図っていくため、地域交流となる取り組みを検討していきたいと思っています。
	46	事業継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震や火災を想定した避難訓練を年2回以上実施し、BCPも職員に周知しています。	
	47	事前に、服薬や手助け、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時や定期訪問時に健康情報を聞き取りしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の処方書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく対応内容について、家族へ周知しているか。	○			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で日々の支援中のヒヤリハット事例を共有し、定例会で再発防止策を話し合っています。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回の虐待防止研修を実施し、早期発見・早期対応の意識づけを行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載されているか。	○		現在、身体拘束が必要となる対象者がいませんが、必要な場合に備え、方針と手続きを整えています。	対象者がいないため、実際に適用する機会はありませんが、今後に備えて体制を定期的に見直ししていきます。	